

(2) 再生可能エネルギーについて

神栖市には年間を通して太平洋から強い風が吹きつけるため、風力発電所が数多く集まっており、令和4年6月現在、市内には43基の大型風力発電施設が稼働しています。

大型の風力発電施設が海岸線に5から10数基が直線的に並んで稼働する景観は、圧倒される光景であり、神栖市の特徴的な景観となっています。

また、鹿島港湾区域内に大規模洋上風力発電事業が計画されるなど、今後も風力発電の導入拡大が期待されています。さらに、市内には高低差がほぼ無く、平坦な地形を利用した太陽光発電や工業専用地域におけるバイオマス発電も盛んに行われております。



波崎ウインドファーム



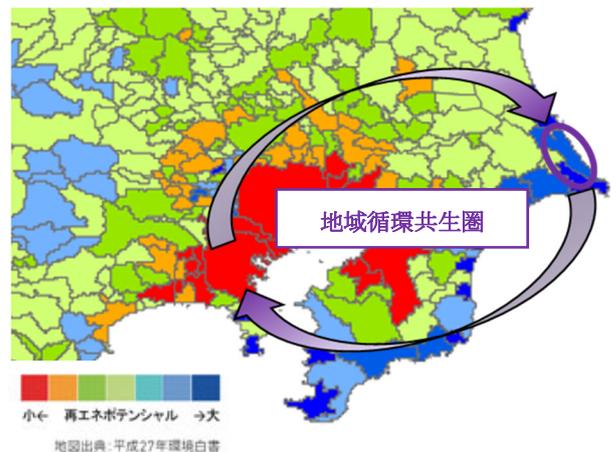
ウインド・パワーかみす
第1・第2洋上風力発電所

2 連携協定について

横浜市の再エネの創出ポテンシャルは、2050年の市内電力消費量の約10%と試算され、再エネへ転換するためには、広域連携による市域外からの供給が必要不可欠です。

そこで、横浜市は再エネ資源を豊富に有する茨城県神栖市と「地域循環共生圏」の考えに基づき、再生可能エネルギーに関する連携協定を締結します。

なお、これまでに平成31年2月及び令和2年10月に再生可能エネルギー資源を豊富に有する東北の13市町村と再生可能エネルギーに関する連携協定しており、本連携協定で広域連携先が14市町村に拡大します。



神栖市との連携イメージ

(1) 連携協定の対象分野

- ・再生可能エネルギーの創出・導入・利用拡大に関すること
- ・脱炭素化の推進を通じた住民・地域企業主体の相互の地域活力の創出に関すること
- ・再生可能エネルギー及び地域循環共生圏の構築に係る国等への政策提言に関すること

(2) 連携のイメージ

横浜市…市内における再生可能エネルギーの利用拡大

神栖市…再生可能エネルギーの供給・拡大及び地域活性化

(3) これまでに連携協定を締結している市町村

- ・青森県横浜町
- ・岩手県県北広域振興局対象自治体等（9市町村）（久慈市、二戸市、葛巻町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町）
- ・秋田県八峰町
- ・福島県会津若松市
- ・福島県郡山市

お問合せ先

温暖化対策統括本部プロジェクト推進課長 松下 功 Tel 045-671-2636